

【質問 1】

- ①情報系大学院の卒業生はどのような分野で活躍しているのか、就職率は他と比べてどうか。
- ②博士課程はあるのか。

【回答 1】

- ①対象の 4 校について、修士課程は比較的うまくいっており大手への就職も多いが、専門職大学院では大手に限らず中小やベンチャーへの就職もあり、就職率はやや劣る。
- ②法科大学院を除いては修士課程のみとなっており、情報系の専門職大学院もすべて修士課程で、現行制度では博士課程の接続もない。一方、情報系の修士課程は系列の博士課程がある場合もある。

【質問 2】

なぜ学生の身につけたい能力や教員の育成したい能力などの将来のことに着目するのか。出てきた結果（アウトカム）がどれだけ違うかの方が大事なのではないか。

【回答 2】

研究設計として、インプット（入学者）・スループット（教育内容）・アウトカム（修了生）のうち、インプット・スループットに注目している。その理由は、情報系専門職大学院の修了生が多くない中、就職状況や身につけた能力の具体的な指標を追いくかったためと、教育内容や大学院側の方向性に注目したためである。

【質問 3】

専門職大学院と専門学校との違いは何か。

【回答 3】

「専門学校と専門職大学院の違いが判らない」という指摘は中教審答申にもある。違いとしては、職業教育の観点で段階の違いで、例えば専門学校は IT スキル標準のレベル 1・2 で汎用性に欠けると言われる。一方、修士課程段階の専門職大学院はより汎用的な教育をしている、汎用性のある能力を育成していることが調査でわかっている。

【質問 4】

- ①入学者の平均年齢は。
- ②企業は即戦力を求めるだろうが、年代別で就職率が違うことはあるのか。
- ③専門職大学院の新設状況があるが、法科大学院では募集停止があると聞く。そうした状況は法科以外でもあるのか。

【回答4】

- ①専門職大学院は社会人が4割と言われているが、学校ごとに社会人中心の場合と、新卒中心の場合に分かれる。今回、新卒対象では平均年齢は20歳代、社会人対象では平均年齢は30歳代だった。社会人大学院では30歳代、40歳代が多いという調査結果もある。
- ②年齢層で求められる能力は変わってくる。そのためA校とB校という対象の違う大学院では実施される教育に多少の違いがある。一方、社会人は新たに就職・転職すると限らないので就職率の算定に意味があるかは難しい面もある。
- ③情報系も1校廃止で、全般的に数校廃止が決まっている。